

## 日本人の智と技のDNA

東京大学名誉教授 和田 昭允

日本人はとにかく緻密で器用、真面目、探究心は旺盛、そして勤勉だ。その国民性をフルに発揮してこれまで、外来の知識と技術を完全に「自分のもの」にしてきた。

その優秀性を、開国前後に黒船で来航した米国のペリー提督の慧眼が見抜き、ズバリ予言した。「日本人は探究心と技能に優れた、世界にも稀に見る人たちだ。必ず世界に雄飛するに違いない」。その上で、東洋のこの小さな国の将来を、これ以上望めないほどの正確さで言い当てる。「日本人は非常に巧緻な技術を持ち、その完全なことはすばらしい。日本は最も成功している工業国に何時までも劣ってはいないだろう」、そして「彼等は間もなく世界の最先進国の水準にまで、間違いなく達する。日

### あすへの話題



本人が一度文明世界の技能を持ったならば、強力な競争者として、将来の機械工業の成功を目指す競争に加わるだろう」。鋭い観察力による感動的な洞察だ。ペリーも偉いが、その彼に衝撃を与えた日本人は、たしかに只者ではない。

英国の科学誌「ネイチャー」は創刊間もない1877年に、工部大学校（東大工学部の前身）の教育を、世界に一步先んじたものだとして「英国とヨーロッパ諸国がエンジニアリング教育で遥かに遅れている間に、日本政府は東京帝国大学において高度の科学と工学実習を組み合わせた、偉大な工学教育制度を完成させた」と称賛した。

歴史はこのように、日本人の血管に脈々と流れる、世界にも稀な「智と技のDNA」を証言する。われわれがこれを自覚し、人類愛の心を込めて発揮すれば、世界から「智と技の日本」と敬愛される国になれるのだ。それを日本文化・文明を築いてきた先覚の人たちはジッと見守っている。